先端計測分析技術に関する俯瞰報告
（今後の進め方について）

資料2－3
科学技術・学術審議会 先端研究基盤部会
先端計測分析技術・システム開発委員会（第5回）
平成28年7月27日

先端計測分析技術に関する俯瞰報告では、日本が比較的優位とされている主要な計測分析手法として、電子顕微鏡、光学顕微鏡、核磁気共鳴、質量分析についての調査を行い、取り組むべき課題の整理を行った。

今後は、これらの課題に対応する戦略を検討するとともに、他の計測分析手法の開発課題について調査をすすめる。

【核磁気共鳴以外の調査済み計測分析手法についての戦略の検討】

（1） 電子顕微鏡、光学顕微鏡、質量分析を使用する研究者と技術開発を行う研究者からのヒアリング

（2） 電子顕微鏡、光学顕微鏡、質量分析を開発する計測分析機器メーカーからのヒアリング

（3） 戦略案を検討した上で、委員会で審議

【新たな対象についての調査方法と情報整理】

（1） 委員会による対象となる計測手法の検討

（1－a） 既存の調査と同じ手法で情報整理

（1－b） 新規の情報整理手法を検討

（2） 主査と事務局による外部有識者（計測機器使用者及び計測機器開発者）からのヒアリング

計測機器使用者からのニーズ情報取得とニーズ情報に関連する計測機器開発者からのシーズ情報取得

（3） 収集した対象計測技術の情報を整理

（4） 対象計測技術の手法としての位置付けを検討